

別表 CEIS 2025 年度前期 社会人会員向け交流・研究会「ネイチャーポジティブに向けての対応の推進」概要  
(一部調整中 2025.4.24)

回	日程	タイトル	内容	備考
第1回	5月29日(木)	第1部 イン트로ダクション	① 交流・研究会の目的、進め方、②ネイチャーポジティブの意味、環境問題との関係、取組み、課題等の概観 (西田貴明 京都産業大学准教授、交流・研究会リーダー)	10分
		第2部 ネイチャーポジティブを巡る国際的な動向や行政の取組(仮題)	生物多様性条約に基づく「昆明・モントリオール生物多様性枠組」、日本政府による「第6次環境基本計画」、「生物多様性国家戦略2023-2030」や地方自治体の対応等行政による取組、「生物多様性民間参画ガイドライン」や「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」等を踏まえた民間企業等との協力等について (大澤隆文環境省自然環境局生物多様性主流化室総括補佐)	1時間30分 対面開催も検討中
第2回	6月17日(火)	ネイチャーポジティブに向けての生物多様性や生態系サービスの評価や将来予測(仮題)	IPBES(注)や日本の生物多様性評価や将来予測と、科学的に見たネイチャーポジティブ達成のためのモニタリングや対策について (山野博哉東大理学系研究科教授兼国立環境研究所上級主席研究員) 注: IPBES: 生物多様性および生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム	NBS(Nature Based Solutions), グリーンインフラ等についても適宜紹介予定(西田リーダー)
第3回	7月(第3週(22日~) また	ネイチャーポジティブと企業活動との関係	ネイチャーポジティブの推進のためは、企業が活動に反映させていくことが不可欠である。そのため「企業と	対面開催も検討中

	は第4週(28日～) (調整中)	(金融、認証等情報開示等の動きを含む) (仮題)	生物多様性イニシアティブ」、生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)による「ネイチャーポジティブ宣言」や、TNFD等経済的な観点からの金融機関や民間企業の取組について紹介・議論する。 (講師 調整中)	
第4回	9月第3週(16日～)～第4週(22日～) (調整予定)	企業での取り組み事例の紹介と全体とりまとめについて (仮題)	先進的な企業の取組具体例を紹介し、参加者の所属企業等の状況等の報告を基に可能な対策等について議論 (参加者からの取組紹介、または先進企業、若しくはコンサル職員 による講義 調整中)	対面開催も検討中
フォローアップ	9～11月	フォローアップ	2025年秋に 第1～4回の講演、議論の概要を講師、出席者からのコメントを踏まえて作成し公表 (具体的な役割分担、スケジュールについては、交流・研究会で検討)	

参考 1 基本的に Web 開催(17:30～19:00 頃)、参加者の希望等により対面開催も検討する。

参考 2 2025 年度前期 社会人会員向け交流・研究会 リーダー 西田貴明 京都産業大学准教授、サブリーダー 一ノ瀬友博 慶応大学教授

参考 3 交流・研究会概要については、ダイジェスト版で録画を作成し、YouTube等を通じて配信する予定。

参考 4 参考図書

- ・環境白書 R6 年版

- ・カーボンニュートラルからネイチャーポジティブへ 野村総合研究所編 中央経済社 2024.7

- ・ネイチャーポジティブ経営の実践 次なるサステナビリティ課題「生物多様性」とは (日経ムック)、PwC Japan グループ(監修) 2023.11

- ・TNFD企業戦略、デロイトトーマツグループ(編集)、中央経済社、2024.3